

みずほ信託銀行の担当者約 1,700 名の 情報共有基盤として kintone を採用

少量多品種の業務を内製で効率化

サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：青野慶久、以下「サイボウズ」）は、みずほ信託銀行株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：梅田圭、以下「みずほ信託銀行」）にて本部と営業店の担当者約 1,700 名の情報共有基盤として「kintone（キントーン）」が採用されたことを発表いたします。表計算ソフトで対応していた業務を kintone に置き換え、スピーディな情報共有を実現しています。

■導入の背景～新たな価値創造にむけた業務の見直し

みずほ信託銀行では、これまで培ってきた強みを最大限に発揮しながら、デジタルイノベーションへの取り組みを加速することで業務の効率化を推進しています。手掛けている商品・サービスが多岐にわたるリテール・事業法人部門においても、紙や表計算ソフトを使って対応している本部と営業店の非効率な情報のやりとりを見直し、新たな情報共有基盤の仕組みづくりによる業務効率化が急務でした。

■「内製化」できる kintone で多発する仕様変更もスピーディに対応

多岐にわたる商品・サービスに加え、仕様・税制変更への対応も考慮する必要があることから、システム開発の外部委託ではスピード・コストが見合わなくなると判断しました。

そこで、ノーコード・ローコードでのシステム内製化ができること、社内 IT リテラシーを向上しながらスピーディで柔軟な運用ができること、金融機関として求められるセキュリティ基準も十分満たしていることなどを踏まえ、kintone の採用が決定しました。

kintone には豊富なテンプレートが用意されていること、動画やマニュアルなど学習コンテンツも充実していることから、自社仕様に合わせたシステム構築と、それと並行してリテール・事業法人部門における内製化に向けた準備が進められました。



■kintone 導入効果と今後の展望

みずほ信託銀行では、本部ならびに営業店の担当者 1,700 名が kintone を活用しています。紙での報告等からのシフト、PC もしくはタブレットでのタイムリーなアクセスが実現され、記録・報告等の効率化が進展しました。また、登録データをリアルタイムに集計できることにより、営業店マネジメントや本部での集計・分析の負荷軽減・スピードアップにもつながっています。新型コロナウイルスの影響でのリモートワークにおいても、支給されたタブレット上で kintone を活用することにより、情報活用が実現しています。

みずほ信託銀行では、kintone と RPA システム「UiPath (※)」の連携も行い、他システムから情報を取得し kintone へ連携する等、高度な利用も実現されています。今後は、行内事務の効率化に向けたアプリの展開等、さらなるデジタル化の推進も検討されています。

※UiPath とは：UiPath 社が提供している RPA ソリューション

サイボウズでは、今後も現場担当者でも開発に参画できるノーコード・ローコードを意識した kintone の製品開発に努めてまいります。また、同等の課題を持つ金融機関においても、チームワークを生かした kintone の展開を進めてまいります。

■kintone とは

製品サイト：<https://kintone.cybozu.co.jp/>

サイボウズ株式会社が提供する、業務アプリ開発プラットフォームです。営業の案件管理、お客様からの問い合わせ履歴やクレーム対応の管理、プロジェクトの進捗やタスク管理、従業員の業務日報など、お客様の用途に合わせた業務アプリの作成が可能です。アプリケーションはノンプログラミングで開発できます。また、社内 SNS のようなコミュニケーション機能を活用することでスピーディな情報共有が可能になり、業務効率化を実現します。

報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 ビジネスマーケティング本部：別府（さ）、恵良

〒103-6027 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27 階

TEL: 03-4306-0803 / FAX: 03-5204-1040 / MAIL: pr@cybozu.co.jp

※商標・著作権表示に関する注記については、こちらをご参照下さい。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>